

広次 彦 通信

No. 181

2010年6月5日

日本共産党大分市議団

口蹄疫(こうていえき)問題 《ご心配な方 ご相談を》 防疫措置の徹底と被害補償を



5月20日、大分県農民運動連合会の申し入れに、
同席する市議広次（左から3人目）

予断を許さない状況

家畜伝染病の口蹄疫は、関係者の真剣な努力にもかかわらず、被害は収まっています。大分県には入ってきていませんが、予断を許さない状況がつづいています。

畜産農家だけでなく…

宮崎県での被害は、畜産農家だけでなく、関係する業者や地

域経済にも重大な影をおとしています。防疫措置の徹底と被害補償などが重要です。

共産党、県に申し入れ

党大分県委員会と県議団は、以下（要旨・抜粋）の申し入れをしました。

- ① ウイルス侵入経路の解明、経路を遮断すること。
- ② 消毒剤の確保・無料配布、防疫経費の支援をすること。
- ③ 消毒体制の強化をすること。
- ④ 市場延期にともなう飼料費、減収分への支給などの支援を強めること。
- ⑤ 資金の借り入れ要件の緩和、借入金の償還猶予、利子補給などをこなうこと。
- ⑥ 風評被害にならないように、正確な情報を周知すること。

※ヤギやミニ豚などのペットを飼われている方は、広次または市に、ご相談ください。

星和台・幹線道路の歩道改良すすむ



改修された歩道（右）

改修がまたれる歩道（左）

「歩道の植栽跡に足をとられて、車道に転げ出た。車が来ていなくてよかったが…」「ベビーカーも通れない」など、星和台の幹線道路の歩道改良を求める声が寄せられていました。広次は、植栽の移植などで歩道を確保することなど、住民のみなさんの声を市に届けて、改善を求めています。

自治会でも、懸案の課題で、住民のみなさんの意見を集約し、市に改良を求めています。

日ごろの一こま

5月3日

『鯉のぼり源流ウオーク』（大分駅～由布院駅・4.6km）に、今年も参加しました。やっぱり「苦しい」行程でしたが、完歩できました。これも自転車を利用して

いるからか…。自転車は、環境、健康に有効ですし、ガソリン代を考えると、お財布にもやさしいです。

「ママチャリ」で、サイクリング… いいですねえ。

日本共産党と広次①

「広次さんは、何で共産党なの？」「共産党って、イメージが…」など、ちょっと聞きたいというご意見をいただいています。シリーズでお話ししたいと思います。

広次は、1956（昭和31年）1月10日、耶馬溪町の「5反百姓」の3男・末子として生まれました。

小学校まで、「どこにいか分からない」ほど、おとなしい子でした（笑）。その子がどう育つでしょう。（続）